

氷川神社
社報 第十九号

武蔵一宮



例祭 齋行



八月一日午前十時より例祭を齋行致しました。畏き迈りより勅使として
 掌典の前田章利様の御参向のもと厳肅に行い、皇室の弥栄と氏子崇敬者の
 安寧を御祈念申し上げます。
 神社本庁統理の御名代に神社本庁総長である石清水八幡宮(京都府)の田
 中恆清宮司、大野元裕埼玉県知事(代理)、大野総代会会長はじめ氏子総代、
 埼玉県神社庁庁長である三峯神社の中山高嶺宮司、県内神職、限定して招
 待した崇敬者など約百七十名の御参列を頂きました。御参列にあたっては
 昨年同様ソーシャルディスタンスをとった椅子の配置、手指消毒の徹底、
 祭典後の直会の中止などの対策をとりました。
 尚、町内山車・神輿の勅使奉迎は昨年に続き中止致しました。



祭典中、桜門前の参拝者



桜門内の参列者



参列者修祓

雪洞書画奉納者

(順不同、敬称略)

例祭では左記の方々にご奉納頂いた書画を雪洞にして廻廊に吊り下げています。

- 堀澤 節
- 吉澤 公子
- 牧野 安甫
- 久保田 満寿
- 牧田 範男
- 内田 すす子
- 加藤 正
- 飯野 直紀
- 葩島 雲外
- 小林 瞳
- 山田 郁子
- 島崎 英子
- 金田 石城
- 山北 知子
- 清水 昌子

神幸祭 齋行



八月二日午後三時、神幸祭を齋行致しました。神幸祭では本殿で神輿に御祭神の御霊をお遷した後、神橋で橋上祭を行い、境内を渡御し本殿へと還御致します。しかしながら、昨年に続き神輿を担ぐ與丁の氏子奉仕がかなわないため、本年も神職が舞殿まで神輿を運び、舞殿で橋上祭を齋行致しました。また、氏子代表者には御参列の上、玉串のお供えを頂きました。

神幸祭と上落合地区

江戸期の当社の社領は三〇〇石あり、その内二〇〇石は上落合地区(さいたま市中央区)から納められていました。幕府から同地区が寄進されたのは慶長九年(一六〇四)で、年貢の上納の他に参道清掃や夫役、祭礼用の小麦の薦の奉納なども行われました。明治四年の太政官布告による上知令で領主と領民という関係は終わりますが、神社と氏子のつながりは絶えることなく続いています。

昭和四十年代までは麦作を行っていた農家が十軒ほどあり、六月の初めに小麦藁を陰干ししてハカマ取りを行い、七月に茅で編んで薦にするという作業が行われていました。



現在、小麦農家は不在となりましたが、北本で耕作された小麦藁が上落合地区の氏子により、ハカマ取りや薦編みの作業を行い奉納され、神幸祭や橋上祭では齋場に敷きつめられています。

奉納御礼

例祭に際し左記の皆様より御神酒・御饌の奉納を頂きました。御篤志に感謝申し上げます。(順不同、敬称略)

さいたま商工会議所

会頭 池田一義

(株)電成社

(株)中村写真館

(株)和泉空調設備

(株)栄大樓總本舗

サン・アドニス(株)

saintarrowne

葵原信祐

みずほ証券(株)大宮支店

(株)武蔵野銀行

頭取 長堀和正

(株)不動テトラ北関東支店

支店長 星克俊

(株)丸三屋

(株)埼玉りそな銀行大宮支店

支店長 谷和彦

解脱会

福寿堂

(株)サンベルクス

代表取締役 鈴木秀夫

阿含宗埼玉道場

(株)みどり建設

代表取締役 加藤芳夫

鹿島神宮 宮司 鹿島則良

藤野泰功

篠竹静子

高木洋明

岳 未晶

祭事暦

当社では毎日の日供祭以外にも年間約七十の祭典を行い、謹んで御皇室の弥栄と国家安泰、五穀豊穰と氏子崇敬者の繁栄を祈願しております。

七月 一日 月次祭

十五日 献詠祭(兼題 登山)

三十一日 例祭前日祭

八月 一日 例祭

二日 神幸祭

十五日 献詠祭(兼題 聖火)

埼玉縣護國神社みた

ま祭

九月 一日 月次祭

十五日 献詠祭(兼題 薄)

敬老祭

二十三日 秋季皇霊祭通拜式

秋分祭



献詠祭では、八雲会会員による和歌が奏上されております。



神幸祭



例祭

神楽③ 神楽殿での里神楽

十一月二十三日、新嘗祭あわせ敬神講社大祭では、祭典中に舞殿で禊の舞が、午後に神楽殿で里神楽が奉納されます。これは、江戸時代以前より続く神楽講の名残りによるものです。

舞殿を前にして奉納される舞殿での神楽と違い、三の鳥居脇の神楽殿では御幣を神前に設えます。神前を前とするか、後とするかは地域により異なり、御幣の数も異なります。

舞人は、能の影響を強く受けた面や衣裳を着替える事で人から神になります。その性格は神話に登場する神や道化、動物など役柄により様々です。また、神楽を構成する上で、欠かせないのが囃子です。大太鼓、鞆鼓、笛などの構成が多く、笛は横笛の篠笛が一般的です。地方によっては、この他に小太鼓が入る所もあり、神楽笛や能管が使用される場合もあります。



八雲神詠



篠笛と龍笛



大太鼓



鞆鼓

社頭往来

奉納献華

六月三十日から七月二日まで
氷川神社献花会による献華の奉納
がございました。尚、八・九
月は緊急事態宣言中の為、中止
致しました。

- 古流松藤会 岩波理豊
- 池坊 草谷智花
- 草月流 冲山草俊
- 桂古流 小林華侑
- 古流松藤会 川嶋理智
- 桂古流 高橋典花
- 草月流 竹下尚峰
- 春草流 栗原春彩



鳥居奉納奉告祭

七月五日、また九月三日に稲荷
神社にて鳥居奉納奉告祭を執り
行いました。



7月5日 窪田智光様



9月3日 竹村元秀様

七五三セットプラン説明会

七月二十四日より貸衣裳と写
真撮影がセットになった七五三
の説明会が始まりました。



例祭前清掃奉仕



勅使館清掃

七月二十七日午前九時より例
祭前の神域清掃奉仕が行われま
した。本年は台風8号の影響に
より町内氏子の奉仕は中止、氏
子青年会、敬神婦人会、八雲会
での清掃となりました。

見沼田んぼの小麦奉納

七月三十日午前十一時、武蔵
野銀行様に小麦を奉納頂き、奉
納奉告参拝を行いました。



助勤説明会

令和四年正月に御奉仕頂く助勤希望者に向け説明会を実施致しました。一日から七日まで男子三十名、女子百五十名募集の予定です。八月二十二日に第一回説明会を実施致しました。



柳生心眼流兵法奉納演武

九月五日午前十時、正式参拝の後、柳生心眼流兵法柳正館会員により奉納演武がございました。

新規授与品奉製

九月十三日より新たに身体健康の「鉄勾玉守」、十九日より心願成就の「御力守」の授与を開始致しました。



鉄勾玉守 1500円

表千家献茶式

九月二十三日午前十一時、表千家同門会埼玉県支部献茶奉賛会による献茶式が執り行われ、表千家同門会理事長三木町宗行宗匠の御奉仕にて神前に奉納されました。



(裏面) 八雲、楼門

(表面) 御姿、神詠

御力守 1500円

正式参拝及び諸会議

- 七月
 - 五日 敬神婦人会役員会
 - 五日 一万人的お宮奉仕
 - 十一日 武蔵菊花会菊作り研修会
 - 二十八日 武蔵野銀行
- 八月
 - 八日 武蔵菊花会菊作り研修会
 - 二十二日 助勤説明会
- 九月
 - 五日 柳生心眼流兵法柳正館
 - 十五日 敬神講社理事会、評議員会
 - 十五日 参道対策会議
 - 十九日 武蔵菊花会菊作り研修会

参道清掃奉仕御礼

参道の清掃活動を頂きました皆様の芳名を紹介し、謹んで御篤志に感謝申し上げます。(五十首順、敬称略)

- ・阿含宗埼玉道場
- ・大宮明るい社会づくりの会
- ・みずほ証券株式会社
- ・一万人的のお宮奉仕の会

婚礼展示会 模擬挙式実施



九月二十日午後二時より婚礼展示会を開催、今回は初の試みとして本殿での模擬挙式を行いました。これまでは婚礼衣装の展示や撮影に関する御相談、披露宴のお料理、引き出物の御紹介など従来の結婚式や披露宴を想定したものでした。少人数やお二人だけの挙式など、様々な御要望にお応えしております。御婚礼に関する御質問、お問い合わせは結婚式御用部までお願い致します。

結婚式御用部 社務所一階(九時〜十六時 無休) ☎〇四八・六四一・〇二三七

結婚式専用 ホームページ開設

この度、新たに結婚式に関するホームページを開設致しました。結婚式プランの御紹介や神前挙式の素晴らしさなどを御紹介して参ります。また、結婚式専用のインスタグラムも開始しております。



新規ページアドレス

<https://wedding.musashiichinomiya-hikawa.or.jp/>

結婚式専用Instagram



氷川神社分社紹介

川越氷川神社

御祭神

素盞鳴尊、奇稻田姫命、大己貴命、手摩乳命、脚摩乳命



創建については、氾濫を繰り返し幾度も流れを変えて来た入間川を畏怖するとともに神聖視し、出雲の簸川に見立て大宮の氷川神社を勧請したと伝えられます。中世に入ると太田道真、道灌父子により河越城が築城され、以後歴代城主による篤い崇敬を受ける事となりました。



明治元年、明治天皇は東京に奠都、十月十三日に東京に着御されると同月十七日に当社に勅書を賜い勅祭の社とお定めになりました。さらに同月二十八日には御自ら装束をお召しになり御親祭を執り行われました。この行幸の御列は鳳輦を中心に武士や軍楽隊、公卿など約五百四十名という盛大なものでした。その様子を現在に伝えるのが幅約四十センチ、長さ約十三メートルに及ぶ『氷川神社行幸絵巻』です。

作者は嘉永二年、足立郡下木崎村に生まれた石田致隆で、明治二年に川越氷川神社社家の山田家に養嗣子として入り、名を山田衛居と改めます。

衛居は、大熊溪雲から和漢学と絵画を、また江戸に出て菊池容齋に歴史画を、平田延胤に国学を学ぶなど画家、国学者としても知られます。

衛居は行幸絵巻だけではなく、浦和宿本陣の星野権兵衛家が行幸の際に宿泊を務めた様子なども描き残しています。



山田衛居



明治天皇行幸浦和駅行在吉景略図

地域の氏神社紹介①

氷川神社は武蔵国の一の宮として広く守護しておりますが、当社以外にも古くから「村の鎮守」、地域の氏神様として祀られている神社がございます。

上落合 神明神社

鎮座地 さいたま市中央区
上落合一一十三

由緒 伊勢参宮を行った村人が御師より受けた御祓大麻を祀った事に由来。

社殿は、古くは茅葺屋根の入母屋作りだったが、昭和五十八年に鉄筋コンクリート造りに改築。



御祭神 天照大御神

鷺神社

鎮座地 さいたま市見沼区
大和田町二一四六三

由緒 葛飾郡の鷺宮神社の分霊を祀った神社。豪壮な唐破風屋根の社殿は総檜の入母屋作りで安政二年(一八五五)の建造と伝える。十月の例大祭は、お日待ち祭で鯉が供えられる。

唐破風屋根の社殿は総檜の入母屋作りで安政二年(一八五五)の建造と伝える。十月の例大祭は、お日待ち祭で鯉が供えられる。



御祭神 天穗日命

加茂神社

鎮座地 さいたま市北区
宮原町四一八一

由緒 賀茂別雷神社の分霊を祀った為、加茂神社の社名となり、村名の由来となった。大正八年に拝殿が消失したが本殿の類焼は免れた。本殿は一間社流造り、壁面には競べ馬の図が彫られている。

賀茂別雷神社の分霊を祀った為、加茂神社の社名となり、村名の由来となった。大正八年に拝殿が消失したが本殿の類焼は免れた。本殿は一間社流造り、壁面には競べ馬の図が彫られている。



御祭神 別雷神

天沼神社

鎮座地 さいたま市大宮区
天沼町一三九四

由緒 熊野大社の分霊を祀った為、熊野神社と号したが、明治四十一年に天沼神社に改称。瓦葺の社殿は明治十年の造営。御神木の楠の木には、令和への改元を機に、注連縄が張られている。

熊野大社の分霊を祀った為、熊野神社と号したが、明治四十一年に天沼神社に改称。瓦葺の社殿は明治十年の造営。御神木の楠の木には、令和への改元を機に、注連縄が張られている。



御祭神 伊弉諾尊 伊弉冉尊 天照大御神

年越しの行事 すす払い

すす払いは、全国的に十二月十三日に行われる事が多く、その頃には全国の神社仏閣で行われた様子が年末の風物詩として、テレビや新聞などで伝えられています。

ご家庭においても、家の煤を払い内外の掃除を行います。近年では年末の大掃除として行われ、すす払いの意識は無くなりつつあります。

すす払いの事を正月迎え、ことはじめ、ええことはじめ、まつならし等と呼ぶ地域もあり、掃除とともにお正月に歳神様をお迎えする、お正月準備のはじめともいわれています。

年末の大掃除は神棚の掃除から始めて頂き気持ちよく年を越して新しい年をお迎えしましょう。



本殿のすす払い

新年を迎える準備 幣神・紙垂・お祓い

幣神は御幣、幣束、お正月様、釜メなど様々な呼び名があり、神様へのお供え物であると同時に御神体や神様の依代でもあります。また、地方により色も形も異なり、祀る期間も松の内、小正月、通年とさまざまです。

紙垂は八丁メともいい、神聖な場所を区切る印として注連縄に付けます。枚数は四枚の四垂れ、八枚の八垂れです。注連縄を張る場所は神棚の他、床の間や玄関先などです。

お祓いは神棚や家の各部屋や人をお祓いするのに使用しますが、大晦日に行う為、晦日祓いともいいます。左・右・左と振って祓い、使用後は神社に納めるか、玄関脇や門口に立て道祖神に捧げて納めます。お祓いを社頭で授与するのは年末ですが、忌服期間中はどうしても欠席出来ない行事などがある場合に受ける服祓いでは、お札ではなくお祓いをお付けしております。



12月中旬から年末まで神札所で授与致します

幣神を祀る場所と祭神名

場所	祭神名
神棚	天照大御神・氏神・歳神・崇敬神
歳神棚	歳神
台所	荒神・火の神
床の間	歳神
トイレ	水の神・便所神
玄関	塞の神
門・門口	門の神・祓戸の神
邸内社	稻荷神・恵比須神・大国神など
井戸	井戸の神・水の神

歳神様はお米の神様であり御先祖様であるともいわれます。歳神様用の神棚や床の間で祀る、または神棚で氏神様とあわせてお祀りする事も出来ます。

火や水は生活に欠かせない為、それらを司る神様は家の要所要所で祀られます。荒神様とは民間で信仰される火の神や土地の神の事で、三宝荒神とも呼ばれます。三宝とは火の神・土の神・竈の神、或いは竈神・奥津日子命・奥津比売命などとされます。

荒神様の信仰内容は多様で、屋内で祀られる場合は火や竈の神、屋外で祀られる場合は屋敷や地域、一族の守護神で農耕の神として信仰されます。

コロナ禍のため来社が叶わない方のために

郵送祈祷の御案内

当社では、新型コロナウイルスの影響により来社の叶わない方に、郵送での祈祷や神札の授与をお受けしております。

御希望の方は、当社ホームページより申込書をダウンロードし、必要事項を御記入の上、初穂料(五千円から)と郵送料(千円)を添えて現金書留にてお申し込み下さい。

現金書留が届きましたら、当社より確認の御連絡を致します。確認後、御神前にて御祈祷申し上げたお札、祈祷お守をお送り致します。お札一体につき、一つだけの願意となります。祈祷以外の神札・お守の申込書は別になりますので御注意下さい。

送り先 〒三三〇・〇八〇三

さいたま市大宮区高鼻町一・四〇七

氷川神社社務所



郵送祈祷の案内ページ
二次元コード

お札・お守等の郵送

御祈祷札以外のお札、お守の郵送を御希望の方はホームページの「授与品」ページよりお札、お守をお選び下さい。下記申込書をダウンロードし印刷して頂き、必要事項を御記入の上、初穂料と郵送料(五百円)を添えて現金書留にてお申し込み下さい。尚、破魔矢・鏝矢・干支土鈴(大)・福熊手(大)が含まれている場合は着払いとなりますので郵送料は不要です。現金書留が届きましたら、当社より確認の御連絡をした後、発送致します。季節限定の特別紙朱印を御希望の方は、申込書の「お札、お守名」の欄に「特別紙朱印」と御記入下さい。紙朱印のみ御希望の場合は送料が百円となります。



大湯祭 福熊手



大湯祭 福財布



令和3年 正月



令和2年 大湯祭



令和2年 大湯祭



正月の縁起物 (写真は令和3年のものです)

令和4年の厄年(数え年)

数え年		前厄	本厄	後厄
男の厄	25才	平成11年	平成10年	平成9年
男の大厄	42才	昭和57年	昭和56年	昭和55年
男女厄	61才	昭和38年	昭和37年	昭和36年

数え年		前厄	本厄	後厄
女の厄	19才	平成17年	平成16年	平成15年
女の大厄	33才	平成3年	平成2年	昭和64年 平成元
女の小厄	37才	昭和62年	昭和61年	昭和60年

令和4年の方位除(数え年)

中央(八方除)			北		北 東		南 西				
大正	12年	100才	昭和	2年	96才	昭和	4年	94才	大正	大正15年 昭和元	97才
昭和	7年	91才		11年	87才		13年	85才	昭和	10年	88才
	16年	82才		20年	78才		22年	76才		19年	79才
	25年	73才		29年	69才		31年	67才		28年	70才
	34年	64才		38年	60才		40年	58才		37年	61才
	43年	55才		47年	51才		49年	49才		46年	52才
	52年	46才		56年	42才		58年	40才		55年	43才
平成	61年	37才		平成	2年		33才	平成	4年	31才	昭和64年 平成元
	7年	28才	11年		24才	13年	22才		10年	25才	
	16年	19才	20年		15才	22年	13才		19年	16才	
	25年	10才	29年		6才	平成31年 令和元	4才		28年	7才	

第二十号は令和四年
一月十五日発行予定です



本年も十一月一日より十五日まで菊花展が開催。年中行事のお知らせ、特別紙朱印の他、最新の御案内はホームページ、インスタグラム、ツイッターなどで行っております。

